

第623回番組審議会報告
2017年11月21日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員
太平信恵委員 津村記久子委員 中野健二郎委員
東野博昭委員 細見良行委員 丸山雅也委員

■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田常務 浜田取締役 宮田取締役
磯澤報道局長 奥田信幸報道部長兼解説委員 小野プロデューサー
大牟田コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長

◆議事の概要

テレビ番組『激突！与野党大決戦 選挙スタジアム2017』
(2017年10月22日(日) 19:57~25:00放送)
について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

- * 「ちちんぷいぷい」と「VOICE」を組み合わせた選挙番組。「ちちんぷいぷい」で見慣れた出演者が並んでいるところは親しみを感じたが、ゲストの人選としては、評論家や専門家をもう一人おいてバランスを考慮してもよかったのでは？
- * 開票速報の見せ方は、各政党リーダーを「学園アニメ風」キャラクター化したうえで各選挙区の候補を政治家カードにし、学園ごとに議席数を争うというカードバトルスタイル。その画面に慣れるまでに時間がかかった。アニメの画像や音が多く疲れた。少し若者に媚びすぎでは？
- * 放送当日は印象に残らなかったが、後日改めて番組を見たら、政党ごとに色分けされた政治家のカード1枚に、当選回数や候補者の特徴が凝縮されていて結果的にはわかりやすかった。
- * 選挙特番の中では、やはりMBSが一番異色だった。賛否両論あると思うが、実験的な取り組みや創意工夫は評価したい。

- *時々画面に出る「記者メモ」の内容はいいものもあったが、選挙と関係のない、例えば「きょうは美容院で散髪」のようなものもあり、コメントを出す意図が統一されていなかったのが残念だ。
- *「記者メモ」はいろいろな内容があって個人的には楽しめた。
- *候補者事務所のアナウンサーのレポートが「非常に静まり返っております」「神妙な面持ちです」等、見ればわかる、当たり前のコメントに終始していたのが残念。
- *生放送なので、当日接近、通過した台風21号に関する情報はもっとメリハリをつけて放送してもよかったと思う。
- *CM前に出てくる「戦後政治史の名場面」は、親子の会話につながればという意図で企画されたというが、あまりに短く、親子で話す時に子どもにこの短い映像を正しく説明できるか疑問。会話のきっかけとしては唐突で、解説が少ないと感じた。
- *国際紛争に詳しい大学教授へのインタビューはよかった。憲法9条を考える上でのポイントとして、根本から考えるならこういう点を押さえないといけないというのが的確に押さえられていた。ただ、インタビューが短かった。
- *松尾貴史さんが全体によかった。自分の主張を一方向的に押しつけるのではなく、抑えたコメントの仕方、「自分の立場としてはこうだ」といった言い方をされたので、非常に聞きやすく、受け入れやすい表現だと思った。
- *番組の終わりにわざわざ司会者の山本浩之さんが一政党の一候補者のところに行って長いインタビューをしていたのは、少しバランスを欠いているのではないか。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

- *番組コンセプトの一つは、若者に訴えかけるということ。番組後半でアニメ部分の長さを短くする等、改善すべき点はあると思うが、今回はア

ニメを見せることを優先したいと考えた。

*東京キー局からの番組をそのまま受けずに、関西でこれだけ差し替えてやっているのはMBSだけということを見ると、やはり「ちちんぷいぷい」の安定した出演者というのはかえ難い。

*山本浩之さんの一候補者への出張インタビューに関しては、実は予定では一人ではなく、他党の候補者とも掛け合いを用意していたのだが、台風の接近で事務所を閉めざるを得なくなるなどの事情で結果的に一人になってしまった。

*地方局なので、東京では絶対できないような番組制作に挑戦していきたい。

以上